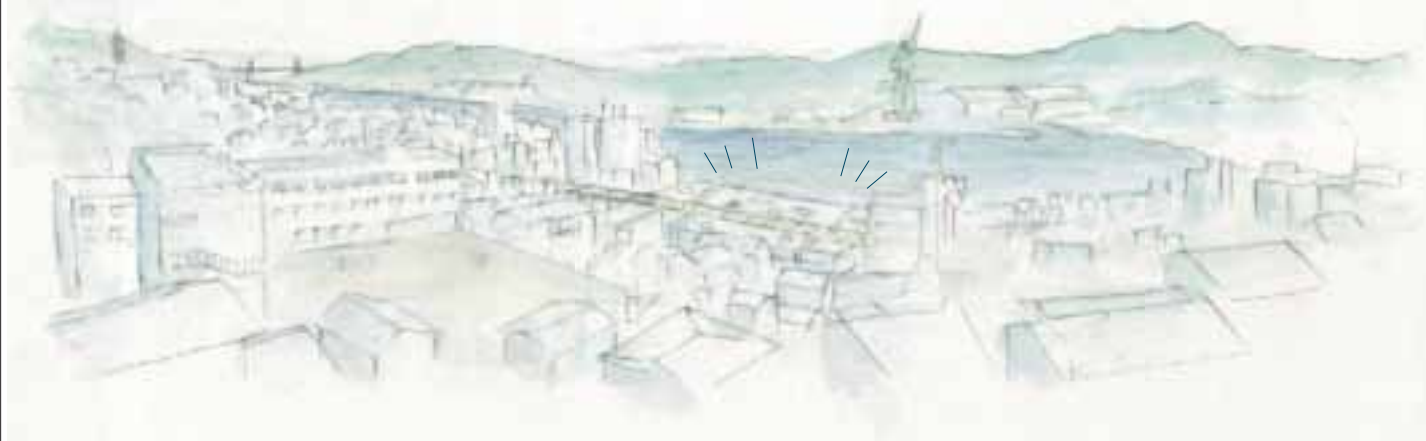


尾道商店街市庁舎

- 地方都市における公共建築 -

目指したものは、港町の市場のような賑わいのある庁舎です。

古くからのまちの中心である商店街と連続し、人々と建築とがつくり出す賑わいの「しまなみ」は、瀬戸内の港町にふさわしい庁舎の風景だと考えました。



千光寺山より瀬戸内海を望む



商店街の店のように、街に開かれた市民のための市庁舎

敷地は JR 尾道駅の東側、約 300m の下図で示した位置である。駅前の交通結節点から近く、山の手の寺社から続く路地・参道が入り込み、眼前には尾道水道が広がる、市民のシンボルのゾーンとして相応しい場所だと実感しました。

また開発が非常に困難な山手に対し、平地は駅前のように画一的な開発が行われる可能性が高く、周辺の街づくりを先導する建物が必要であると考えました。計画敷地前の雁木（船着き場）は江戸時代に作られた文化的価値の高いものです。



■敷地周辺環境及び交通

千光寺山

国道 2 号線 尾道中央商店街 海岸通り



向島フェリー

商店街や海岸通りを歩いていると、いつもの店の中に市庁舎の窓口や部署、会議室などが現れてくる。市庁舎が商店街の店のように街に開かれ、店主と接するように市民と職員や議員が接する。市民の日常生活の舞台となり、街の一部となるような市庁舎を目指しました。



商店の向こうに庁舎が見える風景



店のように開かれた部署



商店街から連続するアーケード

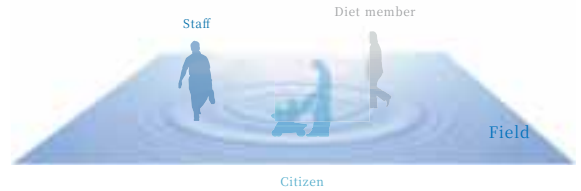


海からの風景

このイメージを建築化するために以下の三つの構成要素を提案します。

1. Open Field / フィールド

多様な市民生活の場として、周辺環境と連続する大平面＝フィールドを提案します。商店街を歩いている人々、海岸通りを散歩する人々、向かい島からのフェリーで船着き場につく人々など既存の街に連続する様々な方向から来る人々が自然に入ってきて庁舎の賑わいをつくっています。このフィールド上では、市民・職員・議員の様々な活動が連続し、お互いに関係し合いながら展開していきます。



山手から海へ続く参道

市民・職員・議員の活動を支えるフィールド

既存の街の要素

フィールドには商店街・路地・雁木など、周辺の様々な都市の構成要素が取り込まれています。既存の街の要素と連続し、街の一部となり、街を作っているような公共建築を目指しました。



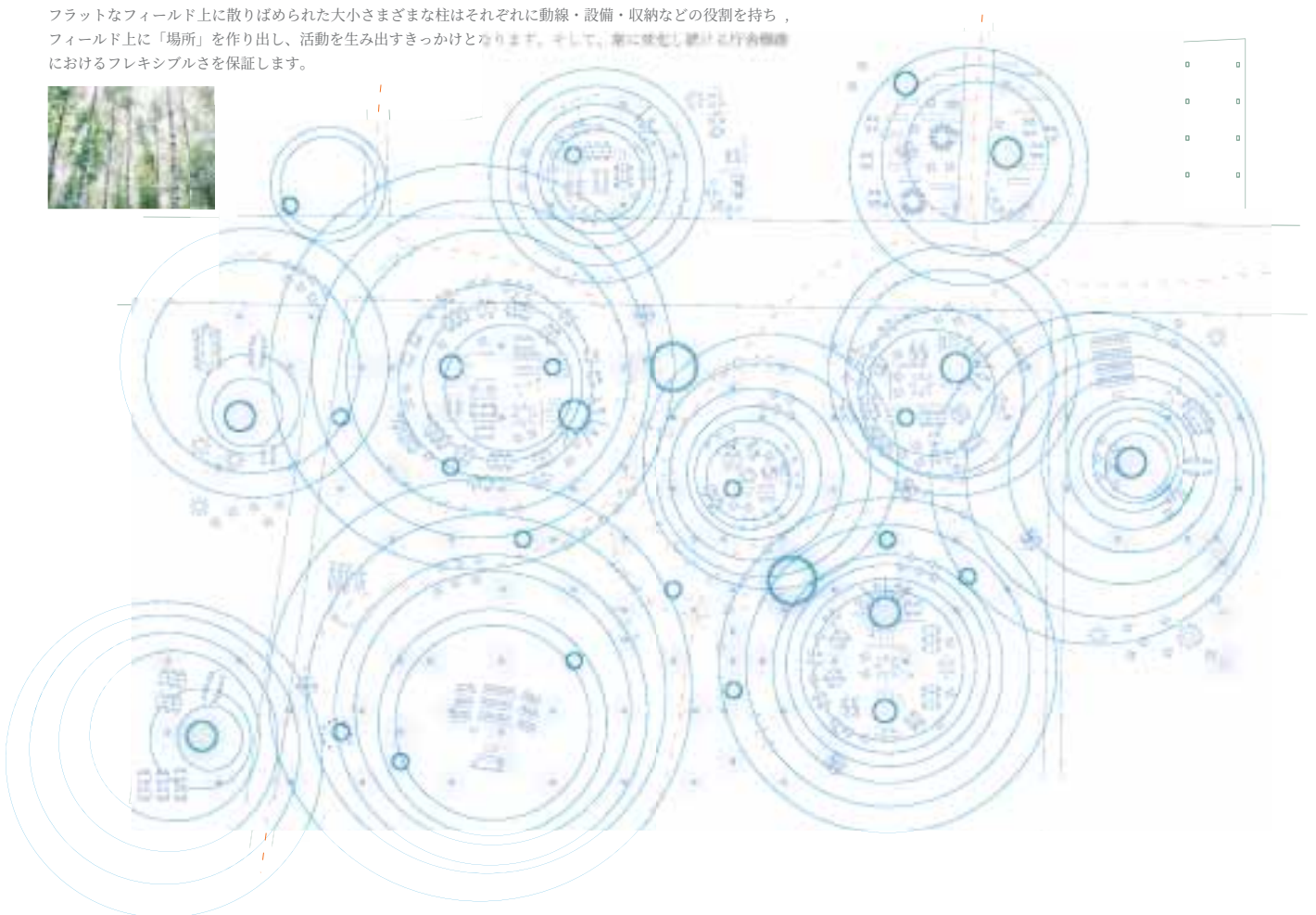
尾道中央商店街



海へと続く路地

2. Column+Flat Slab / コラム＋フラットスラブ

フラットなフィールド上に散りばめられた大小さまざまな柱はそれぞれに動線・設備・収納などの役割を持ち、フィールド上に「場所」を作り出し、活動を生み出すきっかけとなります。そして、常に壁を越え続ける庁舎機能におけるフレキシブルさを保証します。



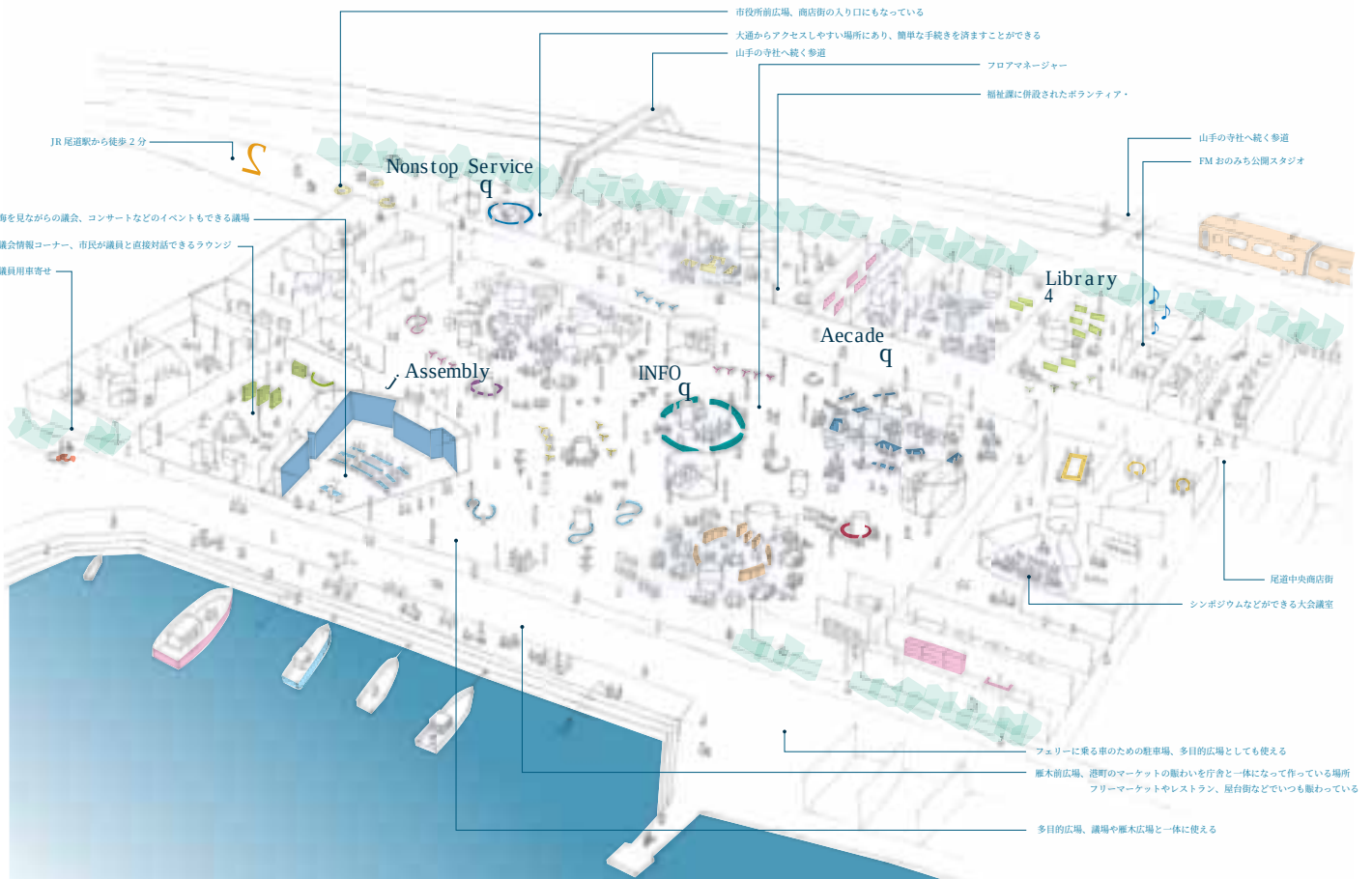
バザール



瀬戸内のしまなみ

3. Archipelago / アーキペラゴ (群島、しまなみ)

さまざまな特徴をもった柱をきっかけに人々の活動がバザールのような賑わいの「しまなみ」をつくり出します。そして瀬戸内海を泳ぐ魚たちのように、人々はその「しまなみ」の中を巡ることができます。



模型写真：内観

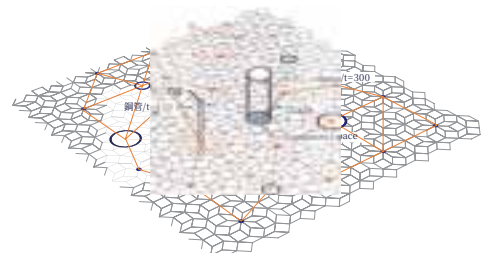
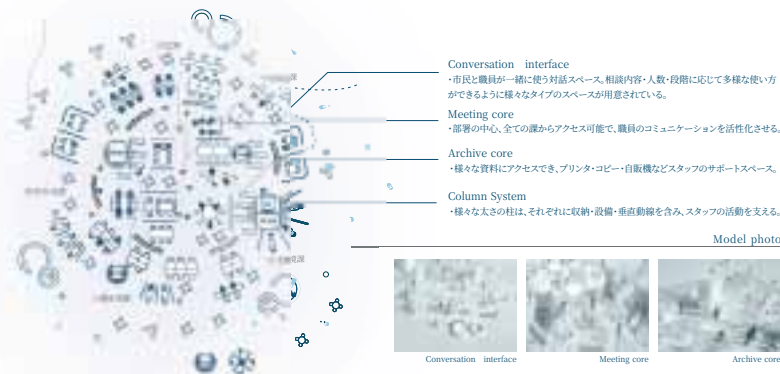


□島状の部署

個々の庁舎機能は、フィールド上に群島のように浮かび、お互いに波紋のように影響しあいながら、商店街や市民活動スペースと連続し展開していきます。

□構造システム

市庁舎部分は、一辺 1750mm に設定したペンローズ・パターンの直行点に様々な直径の柱を配置します。店舗及び市民スタジオ部分は、7200mm×5250mm の直行グリッドに RC ラーメン構造とします。



- ・一辺 1750mm に設定したペンローズ・パターンの直行点 (約 10m 間隔) に柱を配置します。
- ・柱はφ340mm, 440mm, 700mm, 950mm、熱さ 300mm の RC 柱とφ500mm のコンクリート充填鋼管柱の 5 種類とし、鉛直方向の荷重を負担します。
- ・水平方向の荷重は径の大きい RC 柱と店舗・市民スタジオ部分の RC ラーメン構造が負担します。

□低層＋大平面

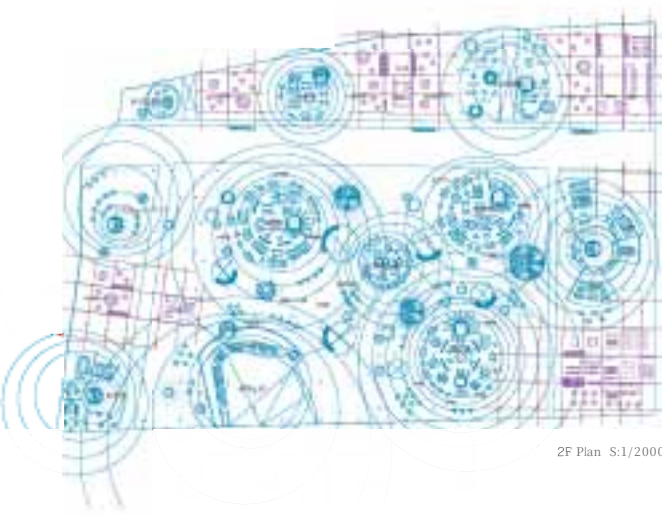
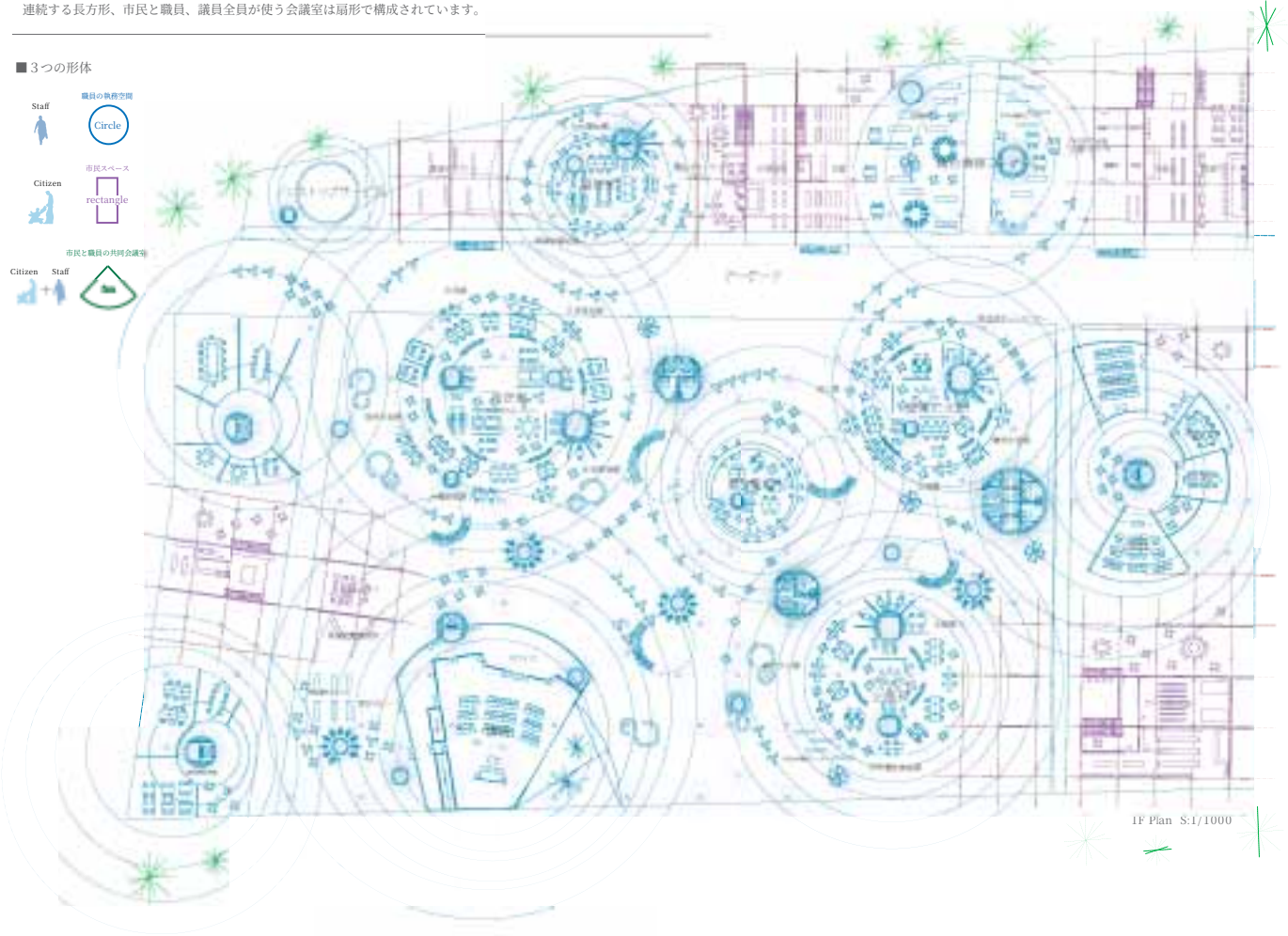
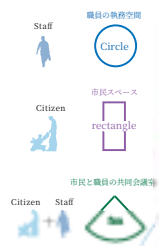
周辺地域との連続性を最大限に生み出すために、接地性の高い低層＋大平面の庁舎を提案します。またフラットなフィールドとそこに浮かぶ執務空間や会議室などは地域に開かれた市庁舎を実現します。



□ Plan / 平面図

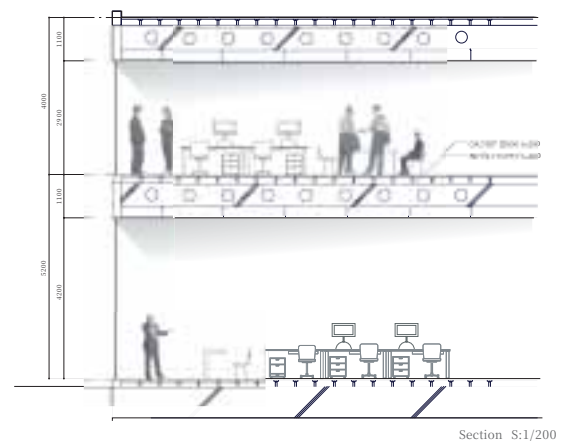
平面は3つの単純な形体で構成されています。庁舎職員の執務スペースは円、市民利用スペースは既存の商店街の長屋と連続する長方形、市民と職員、議員全員が使う会議室は扇形で構成されています。

■ 3つの形体



□ Void Slab / ヴォイドスラブ

庁舎部分は全体を厚さ 60cm の RCヴォイドスラブで構成し、軽量かつフラットな床面を構成しています。コラムシステムとヴォイドスラブの高い剛性によって、フィールド状での多様な活動を受け入れられる骨格を構成します。



雁木広場



尾道みなとまつり



しまなみ街道